

平成29年度
省エネルギー等推進

年間行動目標

施設・環境委員会

**機器の消費電力や待機電力を
把握しましょう。**

長時間使用する機器の使い方を工夫すると、大きな省エネにつながります。

コンセントから機器のプラグを抜いて、待機電力によるエネルギー消費を抑えましょう。

同じ消費電力1kWの機器で省エネルギー対策をした場合、1時間使用する機器と15時間使用する機器では、長時間使用する機器のほうが、大きな省エネにつながります。
身の回りの長時間使用する機器に着目してみてもいいかもしれません。

コンセントから機器のプラグを抜いて、待機電力によるエネルギー消費を抑えることで、エネルギー使用量を低減していきましょう。

**機器の運用マニュアルを
作成してみましょう。**

ムリ・ムダ・ムラがないよう誰でも省エネ的な運用ができるように運用マニュアルを作成しておくことはとても大切なことです。

身の回りの機器の省エネについて、マニュアルを作ってみましょう。